

資 料 提 供	
令和2年5月15日	
担 当 課	文化財課
担 当 者	細田隆博
電 話	0857-30-8422 (内線 2965)

史跡鳥取城跡擬宝珠橋 土木学会田中賞受賞について

国の史跡に指定されている鳥取城跡において平成30年9月に復元された擬宝珠橋（ぎぼしばし）が、このたび、令和元年度土木学会田中賞を受賞しましたのでお知らせします。



竣工直後の擬宝珠橋

【受賞した作品の概要】

- ① 作 品 名：史跡鳥取城跡 擬宝珠橋
- ② 施工期間：平成28年度～平成30年度
- ③ 総事業費：約5億8千万円
- ④ 寸 法：橋長：約37m（城郭の復元橋としては国内最長）、橋巾：6m
※橋長は、欄干袖部を除く親柱間の長さが35.46m、橋桁長が36.64mで、今回土木学会公表数値は、既設橋との関係性から前者で公表されています。
- ⑤ 備 考：水面下基礎部にステンレス製水中梁を用いて遺構保護を行う日本初の工法により実現

【土木学会田中賞とは】

「土木学会田中賞」は、昭和41年度より橋梁・鋼構造工学に関する優秀な業績に対して授与されている学会賞です。橋梁に関する技術の進歩、発展に顕著な業績を上げたと認められるものを対象とする「研究業績部門」、土木学会刊行物に発表され、計画、設計、製作・

施工、維持管理、考察、歴史などに関連して橋梁工学の発展に大きく貢献したと認められる論文・報告の中から選ばれる「論文部門」、橋梁およびそれに類する構造物の新設または改築で、設計・計画・製作・施工・維持管理などの面においてすぐれた特色を有すると認められるものについて選考される「作品部門」があり、史跡鳥取城跡擬宝珠橋は「作品部門」での受賞となりました。

※詳細は土木学会田中賞選考委員会ホームページ

http://committees.jsce.or.jp/tanaka_sho/

をご覧ください。